

国語科年間指導計画

1 学年

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準				評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)			
1	教科ガイダンス 1時間 ・学習規律の確認 ・評価規準および判断基準の説明								・学習用具の確認 ・振り返りシートの書き方 ・ICT機器活用 ・春休み宿題提出
2	朝のリラ 1時間 ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) 【態】 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	→速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。	観察 ノート ワークシート		
3	言葉に出会うために 野原はうたう 1時間 ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) 【態】 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	→速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。 →情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。	観察 ノート ワークシート	→ DVD・二次元コード	
4	声を届ける 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう 4時間(話開②書②) ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア)				【知・技】 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	→聞き手を意識して速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。 →線や矢印で情報を整理している。			
5	◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ)				・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)	→これまでに読んだ本などを基に、印象に残った言葉を書き留めている。			
6	◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	○	◎	○	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】 進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。	→日常生活やこれまでに読んだ本の中から題材を決め、情報整理して「言葉の手帳」に書き込んでいる。	観察 ノート ワークシート		
7									
1 学びをひらく 【全1 1時間】									
時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準				評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)			
8	シンジュン 4時間 ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ)				【知・技】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)	→登場人物の心情や行動を表す言葉に注目して作品を読み進めている。			→P28窓「場面の展開に着目する」 →P264資「文学的な文章を読むために」 →P29言葉 → DVD・二次元コード
9									
10	◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	○	◎	○	【思・判・表】 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) 【態】 場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。	→場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。	観察 ノート ワークシート		
11	★物語を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)								
12	[聞く] 情報を的確に聞き取る 1時間 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ◎必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)	○	◎	○	【知・技】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) 【態】 進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。	→5W1Hに注意して、キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。 →日常の話題について、情報を整理し、聞き取る内容を考えている。 →情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモしている。	観察 ノート ワークシート	→ DVD・二次元コード	

13	情報整理のレッスン 比較・分類 1時間 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎	○	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【態】学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。	→情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりしている。	観察 ノート ワークシート	→P9「思考の地図」 →P271資「情報整理の方法」	
14	情報を整理して書こう わかりやすく説明する 4時間 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ)	○	◎	○	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。	→集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。 →目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明の文章の構成を考えている。	観察 ノート ワークシート	→P272資「発想を広げる」 →P271資「情報整理の方法」 →P35下段「観点ごとに分類する」 →P36「構成を考える」 →P19「言葉を調べる」 →P37「達人からのひと言」
15	◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)							
16	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)							
17	★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表B(2)ア)							
18	漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1 1時間 ◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎	○	【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	→漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。	観察 ノート ワークシート	→P19「言葉を調べる(漢和辞典)」 →P258「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P302資「一年生で学習した漢字」 →P317資「一年生で学習した音訓」	

2 新しい視点で 【全13時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足(B)	十分満足(A)		
19	ダイコンは大きな根? 2時間 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)	○	◎	○	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【思・判・表】「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) 【態】文章の中心的部分と付加的部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。	→本文中で比較がどのように使われているかを理解している。 →「問い」と「答え」から中心的部分を捉え、筆者の主張を理解している。	観察 ノート ワークシート	→P43窓「段落の役割に着目する」 →P266資「説明的な文章を読むために」 →P44言葉
20	ちょっと立ち止まって 3時間 ◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)	○	◎	○	【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) 【態】進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	→筆者の主張と事例との関係を理解している。 →序論・本論・結論の段落のまわりに着目し、要旨を捉えている。	観察 ノート ワークシート	→P50窓「文章の構成に着目する」 →P266資「説明的な文章を読むために」 →P51言葉
21	ちよっと立ち止まって 3時間 ◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)	◎		○	【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【態】学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。	→説得力のある根拠や、意見と根拠の結び付きについて理解している。	観察 ノート ワークシート	
22	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する 4時間 ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) ◎目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ◎自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★紹介など伝えたいことを話したり、それら聞いて質問したり意見などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)	○	◎	○	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ) 【態】話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	→声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。 →聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。 →聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。	観察 ノート ワークシート	→P272資「発想を広げる」 →P56「スピーチメモの例」 →P57窓「魅力的なスピーチをするために」 →DVD・二次元コード →P57「達人からのひと言」
23	思考のレッスン1 意見と根拠 1時間 ◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【態】学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。	→説得力のある根拠や、意見と根拠の結び付きについて理解している。	観察 ノート ワークシート	
24	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する 4時間 ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) ◎目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ◎自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★紹介など伝えたいことを話したり、それら聞いて質問したり意見などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)	○	◎	○	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ) 【態】話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	→声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。 →聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。 →聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。	観察 ノート ワークシート	→P272資「発想を広げる」 →P56「スピーチメモの例」 →P57窓「魅力的なスピーチをするために」 →DVD・二次元コード →P57「達人からのひと言」
25	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する 4時間 ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) ◎目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ◎自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★紹介など伝えたいことを話したり、それら聞いて質問したり意見などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)	○	◎	○	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ) 【態】話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	→声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。 →聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。 →聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。	観察 ノート ワークシート	→P272資「発想を広げる」 →P56「スピーチメモの例」 →P57窓「魅力的なスピーチをするために」 →DVD・二次元コード →P57「達人からのひと言」
26	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する 4時間 ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) ◎目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ◎自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★紹介など伝えたいことを話したり、それら聞いて質問したり意見などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)	○	◎	○	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ) 【態】話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	→声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。 →聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。 →聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。	観察 ノート ワークシート	→P272資「発想を広げる」 →P56「スピーチメモの例」 →P57窓「魅力的なスピーチをするために」 →DVD・二次元コード →P57「達人からのひと言」
27	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する 4時間 ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) ◎目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ◎自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★紹介など伝えたいことを話したり、それら聞いて質問したり意見などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)	○	◎	○	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ) 【態】話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	→声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。 →聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。 →聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。	観察 ノート ワークシート	→P272資「発想を広げる」 →P56「スピーチメモの例」 →P57窓「魅力的なスピーチをするために」 →DVD・二次元コード →P57「達人からのひと言」
28	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する 4時間 ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) ◎目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ◎自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★紹介など伝えたいことを話したり、それら聞いて質問したり意見などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)	○	◎	○	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ) 【態】話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	→声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。 →聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。 →聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。	観察 ノート ワークシート	→P272資「発想を広げる」 →P56「スピーチメモの例」 →P57窓「魅力的なスピーチをするために」 →DVD・二次元コード →P57「達人からのひと言」

29	漢字に親しもう2 1時間 ◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎	○	【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	→小学校で学習した漢字の熟語を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。	観察 ノート ワークシート	→P19「言葉を選べる(漢和辞典)」 →P258「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P302資「一年生で学習した漢字」 →P317資「一年生で学習した音訓」
30	文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 3時間 ◎単語の類別について理解することができる。(知・技(1)エ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎	○	【知・技】単語の類別について理解している。(1)エ 【態】単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。	→文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。	観察 ノート ワークシート	
31							

情報社会を生きる

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
32	情報を集めよう 情報を取り出そう 情報を引用しよう 3時間 (読①書②) ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ)				【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	→グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理し、引用のしかたや出典の示し方を理解している。		
33	◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ◎目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)ウ)	○	◎	○	・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ) 【態】引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。	→調べたいテーマについて、本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにして書いている。 →必要な情報に着目して要約し、内容を理解している。	観察 ノート ワークシート	
34	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表B(2)ア) ★学校図書館などを利用して、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする。(思・判・表C(2)ウ)							

3 言葉に立ち止まる 【全8時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
35	詩の世界 「書く」詩を作ろう 3時間 (読②書①) ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ)				【知・技】 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	→詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。		→P224「さまざまな表現技法」
36	◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ) ◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ◎根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	○	◎	○	・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ 【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	→表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。 →詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。 →自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。	観察 ノート ワークシート	
37	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★詩や解説文を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ) ★詩を創作し、感じたことや考えたことを書く。(思・判・表B(2)ウ)							
38	比喩で広がる言葉の世界 2時間 ◎比喩などの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ) ◎文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア)	○	◎	○	【知・技】比喩などの表現の技法を理解し使っている。(1)オ 【思・判・表】「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)	→文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。 →各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。	観察 ノート ワークシート	→P224「さまざまな表現技法(比喩)」
39	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)							

40	言葉1 指示する語句と接続する語句 2時間 ◎指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。(知・技(1)エ)	◎	○	【知・技】指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ) 【態】今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。	→指示する語句と接続する語句の役割を理解している。	観察 ノート ワークシート	
41	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)						
42	言葉を集めよう もっと「伝わる」表現を目指して 1時間 ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き言葉を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎	○	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き言葉を豊かにしている。(1)ウ) 【態】今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。	→言葉を集め、似た意味の言葉や修飾する言葉を考え、伝えたいことに合う確かな言葉を探している。	観察 ノート ワークシート	→P81「紹介文の例」「程度を表す言葉」 →P300「言葉を豊かに」

読書生活を豊かに

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
43	読書を楽しむ 1時間 ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ) 【態】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。	→さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	観察 ノート ワークシート	→P20「続けてみよう」 →P84「本の中の中学生」 →P190「考える人になろう」 →P90、194「本の世界を広げよう」
44	本の中の中学生 あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ ブラインドの向こうに見える光 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム 本との出会い 1時間 ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにするすることができる。(思・判・表C(1)オ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめる。(思・判・表C(2)ウ)	○	◎	○	【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) 【態】文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。	→読書が、知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 →文章を読み、理解したことを基に、自分の考えを形成している。	観察 ノート ワークシート	

4 心の動き 【全16時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
45	大人になれなかった弟たちに…… 4時間 ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ)				【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)	→戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。		
46	◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる(思・判・表C(1)イ)	○	◎	○	【思・判・表】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	→描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。	観察 ノート ワークシート	→P104窓「描写に注目する」 →P264「文学的な文章を読むために」 →DVD・二次元コード →P105言葉 →P103広がる読書
47	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)							
48	★物語を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)				【態】登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。			
49	星の花が降るころに 5時間 ◎比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ)				【知・技】比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。(1)オ)	→様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをとらえているのか考えている。		→二次元コード(銀木犀)
50	◎場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)ウ)				【思・判・表】「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。(C(1)ウ)	→場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。		
51		○	◎	○			観察 ノート ワークシート	→P114窓「場面や描写を結びつけて読む」 →P264「文学的な文章を読むために」 →P115言葉
52	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)							
53	★小説を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)				【態】進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。			

54	聞き上手になろう 質問で話を引き出す 1時間 ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) ◎必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)	○	◎	○	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめる。(A(1)エ) 【態】進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。	→話し速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。 →話し手のスピーチに耳を傾け、聞いたことを基に、質問のしかたを工夫して聞き、対話をしながら話を十分に理解しようとしている。	観察 ノート ワークシート	→DVD・二次元コード
55	項目を立てて書く 案内文を書く 2時間 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	○	◎	○	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書くようしている。	→情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に生かしている。 →伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理して案内文を書いている。	観察 ノート ワークシート	→P276「手紙の書き方」 →P118窓「わかりやすい案内文を書くには」 →P120「読み手の立場に立つ」
56	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く。(思・判・表B(2)イ)							
57	【推敲】読み手の立場に立つ 1時間 ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ◎読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く。(思・判・表B(2)イ)	◎		○	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 【思・判・表】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ) 【態】粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。	→正確でわかりやすい表現に書き改めている。 →読み手の立場に立って、誤記はないか、表現は適切か、伝える情報が正確にわかりやすく書けているかなどを検討している。	観察 ノート ワークシート	→P275「文章の推敲・原稿用紙の使い方」
時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
58	言葉2 方言と共通語 2時間 ◎共通語と方言の果たす役割について理解することができる。(知・技(3)ウ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ) 【態】今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。	→共通語と方言の役割や特徴について理解している。	観察 ノート ワークシート	留意点 備考 配慮事項
59								
60	漢字2 漢字の音訓 1時間 ◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	→漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短文を作ったりしている。	観察 ノート ワークシート	→P19「言葉調べ」(漢和辞典) →P302窓「一年生で学習した漢字」 →P317窓「一年生で学習した音訓」
61	1学期期末テスト ・形成テストの実施	◎	◎		【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、50%以上75%である。 【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、75%以上である。	テスト結果		
62	1学期期末テスト ・形成テストの解答と解説	◎	◎		【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、50%以上75%である。 【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、75%以上である。	分析レポート		
5 筋道を立てて 【全17時間】								
時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
63	「言葉」をもつ鳥、シジウカラ 4時間 ◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)				【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) 【態】文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。	→筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。 →筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。	観察 ノート ワークシート	→DVD・二次元コード →P135言葉 →P134窓「構成や展開の効果を考える」 →P266窓「説明的な文章を読むために」
64	◎文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表C(1)エ)	○	◎	○				
65	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)							
66	★記録の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめた。 (思・判・表C(2)ア)							

67	<p>思考のレッスン2 原因と結果 1時間</p> <p>◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	◎	○	<p>【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【態】今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。</p>	→原因と結果がどうつながっているか整理し、二つの関係について理解している。	観察 ノート ワークシート	
68	<p>根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く 5時間</p> <p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ)</p>			<p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p>	→情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している。		→P272資「発想を広げる」 →P274資「アンケート調査の方法」 →P135「学習で用いる言葉」 →P134意「構成や展開の効果を考える」 →P141意「根拠を明確にして自分の考えを伝えるには」
69	◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ)		◎	<p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)</p>	→自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。		
70	◎根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	○	◎	<p>・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p>	→自分の考えを裏づける資料やデータを選び、アンケートで得られた情報を適切に関連づけて、考察を導き出している。	観察 ノート ワークシート	→P64「情報を引用しよう」 →P143「達人からのひと言」
71	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)			<p>【態】文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。</p>			
72	★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表B(2)ア)						
73	<p>漢字に親しもう3 1時間</p> <p>◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	◎	○	<p>【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>	→小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。	観察 ノート ワークシート	→P19「言葉を調べる(漢和辞典)」 →P258「小学校6年生で学習した漢字一覧」 →P302資「一年生で学習した漢字」 →P317資「一年生で学習した音訓」
74	<p>[話し合い] 話し合いの展開を捉える 1時間</p> <p>◎意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(思・判・表A(2)イ)</p>	◎	○	<p>【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)</p> <p>【態】進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。</p>	→「上達のポイント」の「根拠を述べ」「前の人の意見を受けて話す」「自分の意見と比較しながら聞く」「意見を整理する」「話がそれたときは元の話題に戻す」を理解している。	観察 ノート ワークシート	→ DVD
時数	<p>教材名 配当時間</p> <p>◎指導目標(知・技)(思・判・表)</p> <p>▼(主体的に学習に取り組む態度)★言語活動</p>	単元の評価規準		評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足(B)		
75	<p>話題や展開を捉えて話し合う グループ・ディスカッションをする 4時間</p> <p>◎意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p>			<p>【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p>	→自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。	観察 ノート ワークシート	→P272資「発想を広げる」 → DVD・二次元コード →P149意「話題や展開を捉えて話し合うためには」 →P32「情報整理のレッスン比較・分類」
76	◎話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ)	◎		<p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)</p>	→話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。		
77	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)			<p>【態】積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。</p>			
78	★互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(思・判・表A(2)イ)						
79	<p>音読を楽しもう 大阿蘇 1時間</p> <p>◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	○	◎	<p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)</p> <p>【態】進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。</p>	→一詩の言葉がどのように使われているか考えて、朗読をしている。	観察 ノート ワークシート	→繰り返しの表現や繰り返ししながら変化している表現などに着目しながら考えている。
6 いにしへの心にあふれる 【全7時間】							
時数	<p>教材名 配当時間</p> <p>◎指導目標(知・技)(思・判・表)</p> <p>▼(主体的に学習に取り組む態度)★言語活動</p>	単元の評価規準		評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足(B)		

80	音読を楽しもう いろは歌 古典の世界 1時間 ◎音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎古典にはさまざまな種類の作品があることを知ることができる。(知・技(3)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎	○	【知・技】 ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。(3)イ) 【態】古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。	→言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。 →小学校から親しんできた古典の作品を思い起こし、古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。	観察 ノート ワークシート	→DVD・二次元コード
81	蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から 4時間 ◎音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア)	○	◎	【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) 【態】進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。	→音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。 →「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。	観察 ノート ワークシート	→DVD・二次元コード →P169「古典の言葉」
82	◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ)						
83	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)						
84	★物語などを読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)						
85	今に生きる言葉 【書】故事成語を使って体験文を書こう 2時間(読①書①) ◎音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表C(1)イ)	◎	○	【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。(C(1)イ) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 【態】積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。	→音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。 →「矛盾」や、「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。 →「矛盾」と自分の体験とを重ねて、書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。	観察 ノート ワークシート	→DVD・二次元コード →P174「漢文を読む」 →P19「言葉を調べる」 →P173「故事成語を使って体験文を書こう」
86	◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★漢文を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ) ★本や資料から文章を引用して説明するなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表B(2)ア)						
87	「不便」の価値を見つめ直す 【書】根拠を明確にして、意見をまとめよう 4時間(読③書①)						

7 価値を見い出す 【全9時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼主体的に学習に取り組む態度 ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
87	◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)	○	◎	○	【知・技】 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。	→意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。 →要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。 →目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。 →賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。 →立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。	観察 ノート ワークシート	→P9「思考の地図」 →P32「情報整理のレッスン比較・分類」 →P80「言葉を集めよう」 →P120「読み手の立場に立つ」 →P300資「語彙を豊かに」 →他美術・音楽・鑑賞文
88	◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ)							
89	◎目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)ウ)							
90	◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表C(1)イ) ◎根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア) ★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表B(2)ア)							
91	助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く 2時間 ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ) ◎根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ)	○	◎	○	【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ) 【思・判・表】「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) 【態】読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだして、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。	→書評を書き、助言し合う活動を通して、読書の意義を理解している。 →読み手からの助言を踏まえて、自分の書いた書評のよい点や改善点を見つけている。	観察 ノート ワークシート	→P9「思考の地図」 →P32「情報整理のレッスン比較・分類」 →P80「言葉を集めよう」 →P120「読み手の立場に立つ」 →P300資「語彙を豊かに」 →他美術・音楽・鑑賞文
92	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表B(2)ア)							

93	漢字に親しもう4 1時間 ◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎	○	【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読み、また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	→小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。	観察 ノート ワークシート	→P19「言葉を調べる(漢和辞典)」 →P258「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P302資「一年生で学習した漢字」 →P317資「一年生で学習した音訓」
94	文法への扉2 言葉の関係を考えよう 2時間 ◎単語の類別について理解することができる。(知・技(1)エ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎	○	【知・技】単語の類別について理解している。(1)エ 【態】単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。	→「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深めている。	観察 ノート ワークシート	
95	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎	○	【知・技】単語の類別について理解している。(1)エ 【態】単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。	→「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深めている。	観察 ノート ワークシート	

読書に親しむ

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足(B)	十分満足(A)		
96	考える人になろう 君たちはどう生きるか たのしい制約 読書案内 本の世界を広げよう 1時間 ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ) ◎文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表C(1)オ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★学校図書館などを利用して、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめる。(思・判・表C(2)ウ)	○	◎	○	【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ) 【態】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	→読書の意義(=読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つこと)を理解している。 →筆者のものの見方や考え方が表れている部分に線を引き、考えたことをグループで発表し合う活動を通して、自分の理解を確かなものにしている。	観察 ノート ワークシート	
97	学びの確かめ ・形成テストの実施	◎	◎		【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、50%以上75%である。 【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、75%以上である。	テスト結果		

8 自分を見つめる 【全27時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足(B)	十分満足(A)		
98	少年の日の思い出 【書く】別の人物の視点から文章を書き換えよう 6時間(読④書②) ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる(思・判・表C(1)エ) ◎文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ)	○	◎	○	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	→場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。 →時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。 →登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。	観察 ノート ワークシート	→P212窓「語り手に着目する」 →P213言葉
99	◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる(思・判・表C(1)エ) ◎文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ)	○	◎	○	【態】文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。			
100	◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる(思・判・表C(1)エ) ◎文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ)	○	◎	○	【態】文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。			
101	◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる(思・判・表C(1)エ) ◎文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ)	○	◎	○	【態】文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。			
102	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★小説を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ) ★詩を創作したり随筆を書いたりするなど、感じたことや考えたことを書く。(思・判・表B(2)ウ)				【態】文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。			
103	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★小説を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ) ★詩を創作したり随筆を書いたりするなど、感じたことや考えたことを書く。(思・判・表B(2)ウ)				【態】文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。			
104	漢字に親しもう5 1時間 ◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎	○		【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読み、また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	→小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。	観察 ノート ワークシート	→P19「言葉を調べる(漢和辞典)」 →P258「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P302資「一年生で学習した漢字」 →P317資「一年生で学習した音訓」
105	文法への扉3 単語の性質を見つめよう 2時間 ◎単語の類別について理解することができる。(知・技(1)エ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎	○		【知・技】単語の類別について理解している。(1)エ 【態】今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。	→「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。	観察 ノート ワークシート	
106	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎	○		【知・技】単語の類別について理解している。(1)エ 【態】今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。	→「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。	観察 ノート ワークシート	

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
107	随筆二編 2時間 ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ)	○	◎	○	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)	→「空の描写」や「父親とのやりとり」がどのように表現されているかを理解している。	観察 ノート ワークシート	→P196「季節のしおり 冬 雪にまつわる言葉」 →P81「言葉を集めよう 紹介文の例」 →P99「大人になれなかった弟たち」(母への思いの描写) →P219憲「随筆を味わう」 →P264憲「文学的な文章を読むために」
108	◎場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)ウ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)				【思・判・表】「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	→場面の展開や描写に着目しながら、筆者の「空」についての思いや「父親」への思いを捉えている。		
109	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く 4時間 ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ)				【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)	→体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。	観察 ノート ワークシート	→P216「随筆二編」 →P272資「発想を広げる」
110	◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ)	○	◎	○	【思・判・表】「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	→読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。		
111	◎根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)				【思・判・表】「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	→書きだしや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。		
112	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★随筆を書き、感じたことや考えたことを書く。(思・判・表B(2)ア)				【態】粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。			
113	言葉3 ささまざまな表現技法 2時間 ◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ)		◎	○	【知・技】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ)	→比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。	観察 ノート ワークシート	→P73「比喩で広がる言葉の世界」
114	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)				【態】積極的に比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。			
115	漢字3 漢字の成り立ち 漢字に親しもう 6 1時間 ◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ)		◎	○	【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)	→漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。	観察 ノート ワークシート	→P19「言葉を探る(漢和辞典)」 →P258「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P302資「一年生で学習した漢字」 →P317資「一年生で学習した音訓」
116	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)				【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。			
116	2 学期期末テスト ・形成テストの実施	◎	◎		【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、50%以上75%である。	【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、75%以上である。	テスト結果	
117	2 学期期末テスト ・形成テストの解答と解説	◎	◎		【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、50%以上75%である。	【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、75%以上である。	分析レポート	
時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
118	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する 5時間 (話聞③書②) ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア)				【知・技】 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア)	→声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながら発表をしている。	観察 ノート ワークシート	→P32「情報整理のレッスン 比較・分類」 →P34「情報を整理して書こう」 →P230-231下段「観点を探す」 「観点の例」 →P54「話の構成を工夫しよう」 →P233憲「集めた情報からテーマを見いだすには」 → DVD
119	◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ)				・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	→情報の整理のしかたを理解し、要点をわかりやすくフリップにまとめている。		
120	◎相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)	○	◎	○	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	→聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。		
121	◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)				・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	→「観点」に見合った情報を集め整理し、内容が伝わる端的な言葉をフリップに書いている。		
122	▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア) ★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表B(2)ア)				【態】集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。			

